

# 市民体育大会

## 結果



1月号に引き続き、第2回  
匠瑛市民体育大会の上位入賞  
者を紹介します。(敬称略)

- ゴルフ  
一般(ネット) 金親俊哉  
川畑良子 土屋秀樹 一般  
(グロス) 鈴木正一郎 及  
川久二 岩橋光男 シニア  
(満60歳以上) 内藤勇 泉  
純一 伊橋康吉 グランドシ  
ニア(満70歳以上) 嶋田新  
治 山口猛 岩井民夫 女子  
山崎千代美 江波戸良子  
福岡洋子  
ソフトテニス  
一般男子 村杉・深井組  
渋谷・並木組 印東・宮澤組  
永野・鈴木組 一般女子  
宇野・小林組 小川・齋藤組  
市原・日色組 増永・伊藤組  
中学男子 米本・伊藤組  
大川・及川組 土屋・湯淺組  
中学女子 角田・新川組  
山田・向後組 須合・鶴沢組

- テニス  
一般男子 野平・青柳組  
千葉・山崎組 川口・加瀬川組  
池内・馬谷組 一般女子  
高橋・井上組 土谷・今井組  
高橋・栗城組 宮内・井橋組  
柔道  
小学校団体 旭柔道協会  
多古中 旭二中B 横芝中  
中学校女子団体 旭二中 八  
二中A 八二中B 八二中C  
高校団体 匠瑛高校 東総  
工業高校A 横芝敬愛高校  
成東高校 一般 多古柔友会  
匠瑛市柔道協会 旭柔道協  
会 未就学児 行木智映 行  
木雅彦 大木陽翔 加藤千遥  
小学1・2年個人 藤崎晴  
加瀬龍弥 西村勇大 木内  
寛樹 小学3・4年個人 平  
山佳太 遠藤駿 浪川翔 ア  
ハマード・スイナ 小学5・  
6年個人 立石遼太 宇井康  
太 及川由季 渡辺和樹 中  
学個人 根本凌一 多田薫永  
林信吾 宇井祥太 女子無  
段 菅谷衣美 加瀬遼 加瀬  
春菜 塚本有美 女子有段  
明平菜美 東海林香織 林治  
奈 男子無段 大川義人 坂  
田英明 高校有段 鎌倉康成  
須郷秀武 榎本和哉 櫻井  
徹也 一般有段 椎名薫 岩  
澤裕太 アハマード・モハマ

- ツド 渡邊修  
剣道  
小学生低学年男子 浅野直  
哉 中村洸斗 石原大輔 小  
学生低学年女子 鶴澤えみり  
中村風沙 川合京香 小学  
生高学年男子 林大輝 中村  
諷斗 古川雅貴 小学生高学  
年女子 関口麻衣子 志賀由  
希子 江波戸愛美 中学校団  
体男子 野栄中 八二中 中  
学校団体女子 八二中A 八  
一中・野栄中(合同)  
ユニカール  
ざんか3(大木栄・土屋  
文子・増田且又) ざんか  
みなちゃん(石川利枝・高橋  
幸子・林敏雄) 小作ファミ  
リー(小作淳也・佐久間・伊  
藤昌夫)  
ソフトバレーボール  
タナカ ソフトC ソフト  
A  
サッカー  
一般 FCシロ eFootball  
Soccer 少年 野栄FC  
匠瑛市JSS FCDリーム  
空手道  
形の部 幼年 埴明日華  
掛巣桃花 佐々あかり 青柳  
拓海 小学生低学年無級 伊  
東美優 佐久間香純 岩瀬智  
哉 佐々健太郎 小学生低学  
年有級 北川空 土屋京太

# 文芸コーナー

- 寺村一也 小柳涼香 小学生  
高学年有級 野口未織 鶴ノ  
澤伶奈 青柳将太 林明日香  
小学生有段 永野瑞紀 田中  
聖人 佐野優衣 根本裕太  
中学生 石津亮 花輪久志  
宮川達海 佐野有香 組手の  
部 幼年 埴明日華 青柳拓  
海 小林鈴那 佐々あかり  
小学生女子1・2学年 野口  
恵実 北川空 伊東美優 小  
学生男子1・2学年 土屋京  
太 宮内啓吾 向後芳紀 矢  
部脩斗 小学生女子3・4学  
年 小柳涼香 林明香里 八  
木里々香 佐久間香純 小学  
生男子3・4学年 上田浩嗣  
川嶋良河 斉藤雅宗 増田  
敏岐 小学生女子5・6学年  
永野瑞紀 佐野優衣 野口  
未織 鶴ノ澤伶奈 小学生男  
子5・6学年 田中聖人 埴  
大和 中山翔太 伊藤聖人  
中学生女子 林優花 西廣奈  
緒 岩崎香織 佐野有香 中  
学生男子 石津亮 倉持政志  
花輪久志 永野雄基  
バスケットボール  
男子 光クラブ Vnets  
Girlsnets 多古レイクス  
女子 リバーストーン Girls  
Vnets グラスホッパー

## 短歌

- 小林信夫推薦  
用済みて積まれし蔓の片隅に一つころがる色  
褪せし瓜 市原 弘  
鈴なりの庭の柿の実熟れたるも子らの取らね  
ば鳥が群がる 太田 勇  
町なかを尾をふり歩くセキレイの可愛き姿に  
笑みて眺むる 鈴木 和子  
ライトアップされし紅葉を露天風呂に眺めつ  
つつい長湯となれり 伊藤 英子  
混み合える車中男の子に譲られし席の隣りは  
化粧する女子 森川 梅  
瀬戸内の海に沈める兄の霊に船の上よりお経  
唱えぬ 日色 和江  
看護士の明るき声に励まされ元気を貰う病め  
る人達 林 房子  
真夜さめてオムツ換えんと介護士の優しき言  
葉に涙するなり 飯島 文字

# 守り継がれる鎮守 匠探訪

(23)

## 星宮神社(宮和田区)の大改修

今年の正月も地域にまつられた神社にお参りしたり、行事に参加した市民も多かったことであろう。

地域の神社は、鎮守神(ちんじゆがみ)、産土神(うぶすながみ)、氏神(うじがみ)などと呼ばれ、そのかたちは多様です。現在、市内には旧八日市場市場域に60、旧野栄町域

に6の66社が宗教法人に登録されていますが、登録されていない社も数多くあります。

大浦・宮和田区(匠匠地区)の星宮(ほしみや)神社改修で新たに発見された記録から地域の神社の移り変わりをみることにしましょう。

およそ400年前、江戸時代に入るころ現在の大字区域が村として範囲が決められ成り立ちました。大浦村もこの時に成立したのですが、集落は以前から堀之内と宮和田に分かれ集落ごとに神社をまつりました。

1200年代に千葉氏が妙見菩薩(みょうけんぼさつ)を守護神(しゅごしん)として当地域にも進出するようになり、大浦氏を名乗る集団が住みつきました。そのなごりで宮和田集落では江戸時代になつてもこの社を鎮守神としました。

今回の発見で、1736年(元文元)8月16日に神社本殿が再建され、落慶式が行われたことがわかりました。こ

神体として「妙見大菩薩」がまつられたことで、当時は妙見様とよばれていたのでしょう。関係者名を見ると、蓮花寺住職が導師となり、農家も兼ねていた神主と宝泉院住職も名を連ね、寺院と神社が一体となった「神仏習合(しんぶつじゆごう)」の様子が見られます。

1846年の修理の際には、氏子40軒の名子氏名が記され共同体としてのまとまりが感じられます。

明治初年の神仏分離で妙見大菩薩から星宮大神と名称を変え、同30年代には「星宮神社」となりました。同27年から8年間、毎年陰曆3月15日に「天下泰平」「五穀成就」を祈つて神楽(かぐら)が奉納されました。

大浦氏の守護神から宮和田区の鎮守神に、そして神仏分離を経て現在に至っています。今回の記録発見により、集落の鎮守が時代の変化の中で守り継がれた足跡がわかりました。

星宮神社の平成の大改修は、「鎮守が現代社会においても脈々と引き継がれる」ことを再認識することになりました。  
八日市場図書館 ☎73-3746

### 力作募集中

あて先...匠匠市秘書課広報聴班  
〒289-2198 匠匠市八日市場八793番地2  
☎73-0080、FAX72-1114



川口城司推薦  
宵早く冬至の柚子の香りくる風呂に浸りて手足を伸ばす  
大木 政子  
禍々しき黒雲金に縁どりて今し初日の抜け出でにけり  
小川 知至

固形燃料燃え尽きる頃牡蠣鍋のほど良く煮えて笑顔の並ぶ  
石田 秀子  
一人居る窓に雀の来る気配パン屑皿に置きて見守る  
佐藤 晃子

### 俳句

西野棠雨推薦

初御空抱ける嬰の足力  
中村 和子  
満潮の川波尖る寒の入  
伊藤 さく  
寶錢の宙に閃く淑気かな  
依知川きよ  
うす衣をふわりと被せて昨夜の雪  
光瀬甲江子  
凧 風は山から海へ吹く  
八木 佐久司  
白き節ある竹林の初明り  
石毛 浩子  
大楯の炎しばらくがくと落つ  
中川まさ子  
願ふより感謝の心初詣  
岩井 やす

川柳  
除夜の鐘余韻に間の動きけり  
川口城司推薦  
寒たまご二つ並んで朝の膳  
山口 静堂  
新年を思へば数へ八十路なり  
加瀬 潔子  
大木 竹子  
高梨果宝推薦

老いて尚活気溢れて別暮らし  
石毛惣一郎  
福袋活気溢れる奪い合い  
江波戸清江  
大漁船帰港で浜は活気つき  
鎌形ミツエ  
初詣で寶錢箱は活気つき  
平山 右  
生き甲斐の趣味が沢山お洒落する  
榎本ひかる  
卒寿翁舞台に立った心意気  
常世田やす子  
カンパスの果物食べてみたくなり  
伊藤さとし  
校庭の黄色い声がこだまする  
鈴木十世志  
晴れ姿曾孫ふたりの七五三  
川口城司推薦  
加瀬きよ子